

## ispace、ルクセンブルク政府と月の資源開発で連携 宇宙資源開発分野で外国政府と連携する日本初の事例

株式会社 ispace（本社：東京都港区、代表取締役：袴田武史、以下 ispace）は、2017年3月2日、ルクセンブルク政府との間で、月や小惑星などの資源の探査と商業利用を目的とするルクセンブルクの「SpaceResources.lu」計画の一環として、月の資源開発に関する覚書を締結しました。

「SpaceResources.lu」計画は、ルクセンブルクが、2016年2月8日に発表した、月や小惑星などから資源を採取し、商業利用するための宇宙資源開発支援の枠組みで、ルクセンブルクを宇宙資源の探査や開拓における欧州ハブとして位置づけるものです。

今回の覚書締結により、ispace は、ルクセンブルクにオフィスを置き、ペイロードの開発や組み立て、技術支援などの重要な技術サービスを開発していきます。ルクセンブルク政府は、月面に存在する水とレゴリスを探査するために、ルクセンブルク科学技術研究所（Luxembourg Institute of Science and Technology/LIST）が開発した質量分析計（スペクトロメーター/spectrometer）を月面で使用することを目的にした ispace のロービング・スペクトロメーター・プロジェクト（roving spectrometer project）をはじめ、月の資源開発に関連する共同調査および開発を行っていきます。

質量分析計は、正確にその物質が何であるかを探り、物質の量を測る観測機器です。ローバーに質量分析計を搭載し、月面を移動しながら土壌の質量分析を行うことで、月面に存在が確認されている水（氷として存在）の分布や、月面を覆うパウダー状の砂レゴリスの組成を測定することが可能となります。

ispace は、ルクセンブルグ市にある、ナショナルビジネスインキュベーターである Technoport® と協力して革新的で技術主導の企業のための専用支援プログラムを提供する Paul Wurth InCub House 内に ispace Europe SA を設立します。

### シュナイダー副首相兼経済大臣のコメント

「ルクセンブルグ政府は『SpaceResources.lu』計画を推進しています。日本の ispace も我々の枠組みに新たに加わったことで、3つの外国企業がルクセンブルグを宇宙資源の探査や開発における欧州ハブとして選んでくれたこととなります。ispace がルクセンブルグの宇宙産業で素晴らしいスタートが切れるよう、国際的にも評価が高い研究機関や現地のイノベーションエコシステムのキープレイヤーとの繋がりを提供していきたいと考えております。」

#### ■本件に関するお問合せ先

株式会社 ispace 担当：秋元  
〒106-0041 東京都港区麻布台 3-1-6 飯倉片町アネックス 6F  
TEL：03-4405-7540 FAX：050-3730-2339 MAIL：pr@ispace-inc.com

## PRESS RELEASE

### ispace 代表取締役 袴田武史のコメント

「ispace は、宇宙資源開発の分野で外国政府と連携した初めての日本企業となります。月は、人類がさらに遠い宇宙を目指すために、戦略的な、そして必要不可欠なステップです。今回のルクセンブルク政府からの支援により、ルクセンブルクや日本はもちろん、グローバルな枠組みで、月を中心とした資源開発を行っていただけることに非常にワクワクしています。」

### LIST 科学技術部 ディレクター ジェンズ・クライゼル教授のコメント

「宇宙産業における技術発展は、ルクセンブルク科学技術研究所（LIST）の材料技術部（MRT）においても重要な分野です。」

### LIST Advanced Instrumentation for Ion Nano-Analytcs トム・ワーツ博士のコメント

「今回の ispace との共同開発は、ルクセンブルグ科学技術研究所が目指す未来をまさに実現できるものです。私たちの質量分析技術は、今後宇宙開発の分野においても転用していく余地が十分にあり、ぜひ ispace と共にこの技術を宇宙に展開していきたいと思えます。」

### Paul Wurth 代表取締役 ジョージ・ラッセル氏のコメント

「Paul Wurth は、従来の鉄鋼産業にこだわらずに、若く確かな技術に立脚した企業との連携を探しています。近年資源の稀少性が目立つようになっていることから、資源開発を促進する技術イノベーションに関心を持ち始めています。ispace の Paul Wurth InCub のインキュベーションプログラムへの参加をととても歓迎しており、この先に待ち受ける挑戦を楽しみにしています。」

### ■ 株式会社 ispace <http://ispace-inc.com/jpn>

「宇宙を人類の生活圏にする」をビジョンに掲げ、月面資源開発の事業化に取り組んでいる次世代の民間宇宙企業。日本から唯一月面探査レースに参加するチーム「HAKUTO」の運営を行い、中長期では、「月への高頻度の輸送」、月資源の開発技術の確立と群ロボット技術を活用した資源マッピングを行う「月面探査」、そして資源の採掘、加工を経て、月面や宇宙の顧客へ提供する「生産・配送」を行なっていくことを計画しています。現在、JAXA との間で、月資源開発の構想の共同検討や月惑星などの不整地環境を移動探査する「昆虫型ロボット」の共同研究を実施しています。

#### ■本件に関するお問合せ先

株式会社 ispace 担当：秋元

〒106-0041 東京都港区麻布台 3-1-6 飯倉片町アネックス 6F

TEL：03-4405-7540 FAX：050-3730-2339 MAIL：pr@ispace-inc.com